ＮＶＡニュース

№４０９　　2023.9.1 発行
一般財団法人長野県バレーボール協会
発行責任者　村上　里志
〒399-0714 長野県塩尻市堀ノ内２－２
TEL：0263-87-7927　FAX：0263-87-7928

第 44 回北信越国民体育大会 バレーボール競技（６人制）

少年男女の2種別が鹿児島特別国体への出場権を獲得

【県強化委員長　鏡味照明】

８月 25 日（金）～27 日（日）、新潟県新発田市、胎内市において第 44 回北信越国体が開催され、少年男女の２種別が鹿児島記念国体への出場権を獲得しました。

少年男子の松本国際高校は大会前に大黒柱の徳留が故障し、不安を抱えて大会を迎える状況となりました。初戦の新潟戦では、徳留の負担を減らそうとした組み立てで臨みましたがリズムがつかめず、第１セットを先取される苦しい展開となりました。しかし、２セット目以降は立直して２－１で勝利すると、富山県、石川県にも勝利。最終戦はインターハイベスト４に入った福井県（福井工大付属福井高校）との対戦でしたが、これも２－０で勝利して４戦全勝で本国体出場を決めました。決して万全でない状況の中、全員の決して諦めない気持ちと、故障をしていてもここぞという時に決めた徳留の頑張りには素晴らしいものがありました。

少年女子の東京都市大塩尻高校は、インターハイで県高校女子初の準優勝という成績を持って臨みました。初戦の富山県、石川県には危なげなく勝利しましたが、２日目の新潟県戦では、相手の好サーブに崩されて第１セットを落とすものの、第２・第３セットは危なげなくセットを取って勝利しました。そして第１代表を賭けた最終福井県（福井工大福井高校）戦は、インターハイのリベンジに燃える福井県に対し、第１セットを取るものの、徐々に相手のペースに持ち込まれ、続く２セットを連取されて第２代表という結果になりました。

成年男子は、長野ガロンズを中心に元ＶＣ長野の森崎、飯山体協（元ＶＣ長野）の小林を加えた選抜チームで臨みました。大会直前に森崎が体調不良で不参加となって残念でしたが、今年こそ北信越を突破してくれると期待をしていました。結果的には準決勝で石川県に０－３で敗戦。しかし、特に第１セット、第３セットは先にセットポイントをつかみながらの逆転負けであり、試合展開では優位に立っていただけに悔しい試合でした。

成年女子のルートインホテルズは大会前にコロナ感染者が複数人出てしまい、最終的には棄権せざるをえない状況となりました。

本国体出場権を得た少年男女は、共にベスト８以上を狙える力を持っていると思われます。本国体での活躍を期待したいと思います。

また、ビーチバレー少年は県代表として少年男子は東海大諏訪高校の栗山・竹内ペア、少年女子は松商学園高校の中川・伊藤ペアが出場します。入賞目指して頑張って欲しいと思います。

令和5年度 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技大会

北海道インターハイ 釧路の地で都市大塩尻高校が準優勝！！

【県総務副委員長　木下久資】

８月１日（火）から北海道釧路市のウインドヒルくしろスーパーアリーナをメイン会場に開催された標記大会で、東京都市大学塩尻高等学校が準優勝という快挙を成し遂げました。

２日の予選グループ戦（１日は開会式のみ）では、地元北海道１位の旭川実業をセットカウント２－０で下して決勝トーナメントに進出。１回戦で福井工大附福井高校に第２セットを取られながらも振り切ると、２回戦では滋賀県代表の近江兄弟社高校を圧倒。４日の３回戦では東京都第２代表の文教学院大女子高校に 25－23・30－28 と競り勝ち、準々決勝の三重高校を危なげなく下して最終日に駒を進めました。準決勝、ここでも持ち前のコンビネーションバレーを展開し、千葉の敬愛学園高校を 23 点・19 点に

押さえてセンターコートに立ちました。決勝では東京都第１代表の下北沢成徳高校に０－３で敗れたものの、本県女子勢としては初めて準優勝という新たな歴史を作りました。

尚、都市大塩尻高校からは北村萌恵選手（ＯＰ：佐久市立臼田中出身）と市川早彩選手（ＯＨ：長野市立篠ノ井西中出身）が”ベスト６”及び”優秀選手”に、西木戸カミラ歩美選手（ＭＢ：松本市立筑摩野中出身）が”優秀選手”に、そして”リベロ優秀選手”には清水世奈選手（飯山市立城北中出身）が選出されました。

「インターハイを終えて」　東京都市大学塩尻高等学校女子バレーボール部主将　北村萌恵

８月１日から行われました令和５年度全国高等学校総合体育大会に長野県代表として出場致しました。このインターハイに向けて、２７人の部員全員の覚悟を固め、日本一をとるという強い思いを持って大会前の合宿に臨みました。チーム全体では「一体感」を大切にして取り組みました。プレーをするのは、コートの中の選手とベンチに入っている 12 名ですが、27 人の部員一人一人にやるべき役割があります。それを、それぞれが全力でやり抜くことを全員で確認して練習してきました。その結果、合宿を重ねる度に、目に見えない張り詰めた空気が作られ、自然と互いのことを考えながら行動し、一体感が生まれました。今回の準優勝は、まさに 27 人全員の力を合わせた結果だと思います。

ベスト８の壁を破ることを、まず目標としていましたが、その壁を破り、センターコートに立って戦えたこと。そして、大きな悔しさを味わいながらも、チームが成長して準優勝をすることができたことは、更に大きな喜びです。目指すところは「日本一」です。さらにレベルアップに努め、27 人全員の力を結集して日本一を目指します。

長野県バレーボール協会の皆様を始め、長野県高体連バレーボール専門部の先生方、地域の方々、学校関係者、そして身近でいつも応援して下さった保護者の方々に感謝申し上げ、御報告と致します。

（公財）日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ１養成講習会を開催

【県指導普及委員　桑原康秀】

８月 11 日（祝）、12 日（土）、20 日（日）の３日間、安曇野市穂高において標記講習会を実施しました。

例年 11 月に開催しておりましたが、昨年より８月と 11 月の年２回開催となり、今年は連休とも重なる日程で受講しやすかったこともあり、県内外より 57 名の申し込みがありました。諸事情で直前に受講をキャンセルされる方もおりましたが、46 名が専門科目を修了しました。昨年までは翌年の 10 月認定となっておりましたが、今年度より９月までに講習を修了された方は翌年の４月認定となりました。

11 日の開校式に続き、県内の公認講師、コーチ資格をお持ちの方々を講師にお願いし、決められたカリキュラムに沿いながら、特にコンプライアンスに重点を置いた内容の濃い講習会となりました。

今年度は 11 月にも大町市で講習会が開催されます。

また、来年度以降も開催予定ですので、受講希望者が多い地区等がありましたら会場調整も可能ですので、今年度中に県協会へ連絡いただきたいと思います。

第 44 回北信越中学校総合競技大会 バレーボール競技

男子の小布施中が全国へ 女子は２年連続１校も全国へ行けず

【県強化委員　木下久資】

標記大会が８月１日（火）・２日（水）の両日、男子は石川県能見市の物見山総合体育館で、女子は同県加賀市の加賀スポーツセンターで開催されました。コロナウィルス感染症は５類に移行したものの、昨年度と同様、開閉会式は無しの大会運営でした。

男子は、本県３位の南箕輪村立南箕輪中学校が１回戦で新潟市立中ノ口中学校に敗れ、本県１位の長野市立北部中学校も１回戦で富山県３位の黒部市立明峰中学校に勝った後の２回戦で敗れ、２日目に残ったのは本県２位の小布施町立小布施中学校のみでした。

小布施中は初日、怪我人が出たこともあって、１回戦こそフルセットになって苦労したものの、２回戦では相手を 13 点・18 点に抑え込んで完勝。２日目の準決勝に進出しました。その相手は、今年３月の菅公学生服杯 北信越中学新人優勝大会、同じく準決勝で苦杯を喫した富山県１位の砺波市立庄川中学校でした。菅公杯では速いクイックに手を焼き、17 点と 11 点で終戦となった訳ですが、この日はしつこくブロックに跳んで防御。１セット目こそ 16 点で落としましたが、第２セットは粘りに粘ってデュースに持ち込みました。しかし、相手のサイドアタッカー陣が予想以上にパワーを付けていたこともあって、残念ながら 27－29 と後一歩のところで力尽きてしまいました。３位でコート表彰を受けた後の全国大会出場決定戦、相手は２回戦で本県１位の長野北部中を破った福井県１位の鯖江市鯖江中学校でした。負ければ全国への道が閉ざされるという緊張感の中、小布施中は自分達のボール扱いの上手さを生かしたバレーを展開。第１セットは、余計なミスが無い分、序盤でリードを奪い、中盤過ぎに追いつかれかかったものの、要所でブロックが決まって 25－22 と先取しました。第２セットは一転、中盤過ぎ迄は競り合いが続き、20 点目は先に取られましたが、ここから効果的なサーブでリズムを取り戻し、痺れる展開の中、派手さは無いものの丁寧なバレーで再び 25－22 と競り勝ち、２年連続して全国大会への切符を手中にしました。

一方の女子は、本県３位の上田市立第五中学校が１回戦で富山県１位の富山市立堀川中学校に敗れ、本県１位の松本国際中学校と２位の長野市立広徳中学校も１回戦は勝ったものの、２回戦で広徳中が新潟県１位の新潟市立中ノ口中学校に、松本国際中も福井県３位の鯖江市鯖江中学校に敗れて、全チームが初日で姿を消しました。これで女子は 1991 年以来、昨年度に続いて２年連続１校も全国大会に進めないことになってしまいました。

尚、全国大会は 8 月 20 日（日）～8 月 23 日（水）、愛媛県松山市・伊予市で開催されます。本県から唯一の出場となる小布施中学校の健闘をお祈り致します。

JOCジュニアオリンピックカップ 第 37 回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

長野県中学男女選抜選手最終選考会(トライアウト)を開催

【県強化委員　木下久資】

女子は８月５日（土）に安曇野市立穂高西中学校で、男子は８月 11 日（金）に岡谷工業高校で今年度の長野県中学選抜選手男女各 12 名を決める最終選考会（トライアウト）を開催しました。この最終選考会には、東北中南信の各地区トライアウトを経て選ばれた選手（８月初旬に行われた北信越大会に出場した選手は免除）と、７月末に行われた全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会長野県予選会で選考された選手、併せて女子：３０名・男子：４４名が参加しました。

開会式では、県協会の村上専務理事や鏡味強化委員長から「落ちても受かっても、何らかの形で将来にわたってバレーボールに携わって欲しい」というお話があった後、女子は４チーム、男子は５チームに別れて実戦形式のゲームを行い、選手個々の力を見ました。更に合間等を使って、身長や最高到達点も計測しました。今年の女子の傾向としては、かつての選抜選手を父母に持つ選手が目立ったことです。又、男子には 180 ㎝を超える長身者が、予想を大きく上回って 19 名もいました。選手の体格・能力が拮抗していたこともあって、男女共、最後の２～３名を選考するのに時間を要しました。

尚、スタッフも含めた本年度の男女中学選抜チームの正式発表は、９月２日（土）に予定されております結団式の場となります。

北信越バレーボール連盟功労者表彰

坂田秀男氏が長年の功績により受賞！

西川北信越連盟会長(左)と共に

【県協会専務理事　村上里志】

８月 25～27 日、新潟県において開催されました第 44 回北信越国民体育大会の会期中に行われました北信越連盟功労者表彰授賞式において、本会理事の坂田秀男氏が功労者表彰を受賞されました。

坂田理事はH29 より３期６年北信越連盟競技委員長を歴任、また北信越クラブ連盟初代理事長として４期８年（H13～H20）、組織の確立と発展に尽力されました。県内においては、初代県クラブ連理事長として団体設立に尽力、以降これまで県協会競技担当運営理事・理事を歴任、６期 12 年（H23～Ｒ４）に亘り競技委員長を務めるなど、本会の組織運営にも多大な功績を残されました。また、現在もＪＶＡ競技委員会企画部長と務めるなど、その手腕を全国の場でも大いに発揮してご活躍中です。

誠におめでとうございます！

全日本９人制実業団男女選手権大会

セイコーエプソンが準優勝！松本市役所女子も第3位に

【県協会専務理事　村上里志】

7 月 28 日～31 日、愛知県一宮市において全日本 9 人制実業団男女選手権大会が開催され、男女の松本市役所とセイコーエプソンが出場しました。女子は実に 4 年ぶりの開催となりましたが、コロナ禍で登録チームが減少し、残念ながら出場８チームと寂しいものとなりました。

県勢は十数年ぶりに本大会に参戦したセイコーエプソンが、前回覇者（2019）の大分銀行を予選グループ戦と決勝トーナメント準決勝において、いずれもフルセットの激戦を制して退け決勝戦に進出しました。決勝は昨シーズンまでトップリーグに所属していた東京東信用金庫に健闘及ばす惜敗したものの、9 人制女子の古豪復活を印象付けました。

尚、女子の松本市役所も 3 位に入賞しましたが、残念ながら男子の松本市役所は決勝トーナメント２回戦敗退となりました。

＜セイコーエプソン　上條監督＞

我がチームとしては久し振りの全日本 9 人制実業団、そして今大会の全てが格上チームと考え果敢に挑んでいきました。

９人制をやったことがない選手が大半を占める中、9 人制を学び練習に取り組んできた成果が、少しずつ結果に結びついてきていると感じていますが、何よりも今回の結果を自信に繋げて、今後更に精進していきたいと思います。

EPSON バレー部は 9 人制で再出発しました。

今後ともよろしくお願いします。

第 36 回北信越小学生バレーボール大会

男子の塩田VBC 女子の豊科JVCが3位入賞

【県小学生連盟理事長　西澤悦郎】

７月 29 日（土）～30 日（日）、石川県のいしかわ総合スポーツセンターで標記大会が開催されました。長野県から男女各３チームが出場し、１日目のグループ戦の結果、２日目の決勝トーナメント戦に男子２チーム、女子３チームが臨みました。その結果、男子第１代表の塩田ＶＢＣ、女子第２代表の豊科ＪＶＣが３位入賞を果たしました。以下、チーム代表者のコメントです。

＜塩田ＶＢＣ 男子監督　和田 英樹＞

７月 29 日から 30 日にかけて石川県にて開催された第 36 回北信越小学生バレーボール大会に、昨年に続いて２年連続の出場をしてきました。

予選リーグは、序盤硬さも見られましたが、２勝を挙げてグループ１位で決勝トーナメントへ進出できました。

決勝トーナメントではシードということもあり、初戦が午後一という難しい試合となりましたが、同じ長野県代表の三水ジュニアさん・岡谷 Jr さんの大声援をバックに、昨年は成らなかった初戦突破を果すことができました。結果は、準決勝で桜井（富山県）に惜敗してチーム目標には届きませんでしたが、３位入賞の好成績を残すことができました。

最後、選手たちに悔し涙はありましたが、２日間選手たちは笑顔でバレーを楽しみ、良い経験ができました。チームとして個人として、更なるレベルアップに向けて今回の経験を今後に活かしてほしいと思います。今大会の開催、運営にご尽力いただいた北信越小連役員の皆様、石川県小連役員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

「第３６回北信越小学生バレーボール大会に出場して」　豊科ＪＶＣ監督　丸山 文生

目標にしていたのは、第 43 回全日本バレーボール小学生大会長野県大会で優勝して２年連続全国大会に出場することでしたが、残念ながら３位でそれを果たせず、７月 29・30 日に石川県で開催された第 36 回北信越小学生バレーボール大会に長野県第２代表で出場しました。北信越大会は２年前（富山県開催）に出場できるはずだったのですが、コロナで大会が中止だったため、今回が初出場でした。

チームはアタッカー陣が小柄ということもあり、高さでの勝負ではなかなか適わないため、両サイドの速い攻撃をカラーとし、レシーブ力とセッターとのコンビ力等を日々練習して大会に臨みました。結果は、１日目の予選グループ戦で２勝して１位通過。２日目の決勝トーナメントに進出して、初戦の相手は前日対戦した新潟県代表の湯之谷ＶＳＳ。22－20・21－18 と苦戦するも勝利してベスト４に入りました。準決勝では本大会優勝チームの福井県代表の服間ジュニアバレーボールクラブと対戦しました。中盤に何でもないミスからレシーブリズムを崩して連続失点し、1 セット目を落としました。２セット目の出だしは強気のサーブも功を奏して５－１としたのですが、相手のタイムアウト後は的確なサーブと多彩な攻撃で一気に優勢な形で進められ、敗退してしまいました、ちょっとしたミスからのゲーム展開の難しさを痛感した大会になりました。北信越大会では優勝を目標として頑張って来ただけに悔しさが残りますが、この大会で得た経験を活かし、今後の目標に向かってチーム一丸となって励んで行きたいと思っております。今後とも応援宜しくお願いいたします。

最後に、まだまだ感染症予防で運営が難しい中、ご尽力頂いた北信越小連役員の皆様、開催地の石川県小連役員の皆様等、ご協力頂いた全ての皆様に感謝を申し上げます。本当に有難う御座いました。

第 11 回北信越ビーチバレーボール選手権大会

過去最多の出場の中から県勢は成年男子と少年男子が優勝！

【県ビーチ連盟理事長　三島英徳】

８月 27 日（日）、駒ヶ根市森と水のアウトドア体験広場に於いて標記大会が開催されました。この大会は、コロナ禍もあり、４年振りの開催となりました。出場チームは、成年男子が 11 チーム、成年女子が５チーム、少年は男子が 11 チーム、女子が９チームでした。

成年男子の決勝戦は、優勝候補の斉藤・金子ペア［新潟県］ｖｓ峯村・小林ペア［長野県］の対戦となりました。ゲームは一進一退の好ゲームとなりましたが、終盤に相手のミスをきっかけにリードを奪った峯村・小林ペアが 21－17 で新潟県チームを振り切って優勝。同ペアは長野工業のＯＢチームで、昨年の国体出場チーム。長野県チームの成年男子優勝はこの大会では初めてであるだけでなく、この若さでの優勝は、同大会では初の快挙でした。

少年男子の決勝は、松本・松本ペア［長野県、長野工業高校］ｖｓ小林・若泉ペア［福井県］の対戦でした。松本・松本ペアは終始リードを保ち、21－14 のワンサイドの展開で優勝しました。この長野工業のペアは、準決勝で優勝候補の新潟県チームに競り勝ち、その勢いで優勝を勝ち取りました。

成年女子は出場が５チームであったため、総当たり戦で覇を競いました。福井県の炭本・青山ペアはプロチームでもあり、長野県チームが何処迄通用するのかに注目が集まりました。長野県の高山・古田ペアは今回初めて組むペアで、古田の高さのあるブロックとスパイク、高山のレシーブ等が噛み合って善戦しました。結果は、優勝した福井県のペアに続いて、長野県ペアが２位に入る健闘を見せました。

尚、少年女子の伊藤・中川ペア[長野県、松商学園高校]は、圧倒的な強さで優勝した福井県チームと準決勝で対戦し、ゲーム中盤迄はシーソーゲームの展開でしたが、終盤一気に離されて敗退。しかし、国体に向けて良い経験になったゲームでした。

最後に、今回、長野県の出場チームは過去最多（成年男子５、少年男子５、成年女子４、少年女子３）でした。他県に比べて競技人口が圧倒的に多く、他県の方々も驚いていました。ビーチ連盟としては、今後も競技人口の増加、競技のレベルアップに努めていきたいと思っております。

2023 長野県ソフトバレーボール秋季大会北信越総合予選会

フリー・スポレク・シルバーの各部で北信越総合に出場するチームが決定

【ソフト連盟理事長　篠原初男】

佐久市の佐久市総合体育館に於いて８月 27 日(日)、標記大会を開催致しました。体育館内は冷房も効いていて、気持ち良くプレーすることができました。

この大会は、フリーの部・スポレクの部・シルバーの部が北信越総合の予選会となる大会でした。フリーの部には５チーム、スポレクの部３チーム、シルバーの部８チーム、レディースの部２チーム、計１８チームのエントリーとなりました。

フリーの部は５チームの参加だったため、総当たり戦を行った結果、ソラリスＡ（長野市）が優勝しました。

スポレクの部は３チームでしたので、こちらも総当たり戦を行い、スーパーマックスＡ（小諸市）が全勝優勝しました。

シルバーの部は、８チームでしたので先ず予選リーグ戦を行った上で、上位３チームによる決勝リーグ戦を行いました。松代クラブ（長野市）が全勝で優勝しました。

以上、各部で優勝した３チームが、10 月 15 日（日）に富山県富山市で開催される 2023 年度ソフトバレー・北信越総合フェスティバルに出場致します。

尚、**レディースの部**は２チームでしたので、ＬＯＯＫ（松本市）とらいでん（東御市）による戦いになりました。両チームの力が拮抗し、１勝１敗となりましたが、得失セット数でＬＯＯＫ（松本市）に軍配が上がりました。

ソラリスＡ

スーパーマックスＡ

松代クラブ

ＬＯＯＫ

佐久地区小学生がGSS東京サンビームズの選手と交流

【佐久平協会理事長　宮澤智昭】

令和５年 7 月 30 日（日）、佐久市の望月小学校体育館他２会場で第 38 回佐久平協会カップ争奪男女小学生バレーボール大会を開催。熱戦が繰り広げられました。

今年度は、Ｖ２リーグ女子の GSS 東京サンビームズの選手とスタッフの皆さんが、各会場に応援に駆け付けて下さいました。試合の応援の他、試合終了後にはバレーボール教室やサイン会を開催して、大会を盛り上げていただきました。大会に参加した子ども達は、思いがけない選手との交流に初めは戸惑っていましたが、すぐに打ち解けて楽しい大会となりました。

GSS 東京サンビームズは、軽井沢町をサブホームタウンと位置付け、毎年Ｖ２リーグの公式戦を軽井沢町で開催しています。その縁で、今回の交流をしていただくこととなりました。

今後も、GSS 東京サンビームズとの交流を通して、地域の方たちにＶリーグを身近に感じていただき、バレーボール人気が少しでも高まることを願っています。

8 月 試 合 結 果

☆ 第 53 回全日本中学校選手権大会 北信越大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.2_tyugaku_hokusinetu.pdf

☆ 第 50 回全国高校定時制・通信制大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.5_teitu.pdf

☆ 全国高等学校総合体育大会 バレーボール競技大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.3-5_9-11_koko_sotai.pdf

☆ 第 22 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.6_beach_junior_men.pdf

☆ 第 42 回全日本 9 人制クラブカップ男子女子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.7_9club_zenkoku.pdf

☆ 第 43 回全日本小学生大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.10_zensyo.pdf

☆ 第 42 回全日本 6 人制クラブカップ男子女子男子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.14_6club_zenkoku.pdf

☆ ‘23 マドンナカップin伊予市　ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.13_madonna_cup.pdf

☆ 第 37 回ビーチバレージャパン
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.12_beach_japan.pdf

☆ 第 14 回湘南藤沢カップ　全国中学生ビーチバレー大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.18_syonan_fujisawa_cup.pdf

☆ 第 34 回全日本ビーチバレー女子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.20_beach_women.pdf

☆ 第53回全日本中学校選手権大会 バレーボール競技
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.23_zenchu.pdf

☆ 第44回北信越国民体育大会バレーボール競技（インドア）
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.25-27_kokutai_hokusinetu.pdf

☆ 長野県ソフトバレーボール秋季大会 北信越総合予選会
http://naganosvf.html.xdomain.jp/kekka.html

☆ 第11回北信越ビーチバレーボール選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2023siaikeka/R5.8.27_beach_hokusinetu.pdf

9 月スケジュール

9/2(土)	JOC 第37回全国都道府県対抗中学大会 長野県選抜選手結団式	(塩尻市)
9/2(土)～3(日)	第14回全国6人制 北信越地域リーグ大会	(富山県)
9/3(日)	ファイテン杯第22回北信越クラブ優勝大会 県予選会	(大町市)
9/6(水)	県スポーツ協会　令和5年度 第2回総務専門委員会	(長野市)
9/10(日)	第13回全国ママさんバレーボール冬季大会 県予選会	(佐久市)
9/10(日)	第23回長野県障がい者スポーツ大会	(朝日村)
9/15(金)～17(日)	第12回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル	(大分県)
9/16(土)～17(日)	天皇杯・皇后杯全日本選手権大会 北信越ブロックラウンド	(安曇野市)
9/16(土)～19(火)	特別国民体育大会（ビーチ少年）	(鹿児島県)
9/16(土)～19(火)	第23回日本スポーツマスターズ2023	(福井県)
9/24(日)	全日本9人制総合男子女子選手権大会 県予選会	(塩尻市)
9/30(土)～10/1(日)	全日本9人制セカンドリーグ	(飯山市)
9/30(土)～10/1(日)	第26回全国ヤングクラブ優勝大会	(大阪府)